

家庭の役割

県教育委員会委員

田 野 美 佐



今、学校現場では様々な問題を抱えています。そして社会でも、SNSによるトラブルが増加しているなどの現状があります。未成年者による犯罪も絶えません。物が豊かになる一方で、人としての心の豊かさはどうなのでしょう。

子ども同士のトラブルもあります。いじめもあります。昔はガキ大将がいて、自分より弱い者をいじめるところか守ってあげていたのが、最近傾向が変わり、自分がされて嫌な事でも人にしてしまう、悪いことをしている人がいても見て見ぬふり、ということもあるようで、本当の気持ちを出せないで、葛藤している子どももいるのではないのでしょうか。色々な思いを抱えた状態で、先生の話を持ち着いて聞くという事もできていない場合もあるような気がします。

しかし、一番の基本は家庭にあります。基本的な生活習慣は親がつけてあげなくてはなりません。その基礎の上で勉強を教わり、集団生活の中で仲間と関わりながら視野を広げ成長していきます。将来、自分で考え自分で人生を歩まなくてはなりません。その為にも親の役割・ルールがあると思えます。してよい事、悪い事をきちんと伝え、なぜだめなのかを分かるまで教え、よい事は褒めてあげる。そして、「ありがとう」「ごめんなさい」

等の当り前の事が素直に言える人になって欲しいと思います。

大人になる前の、特に高校卒業までの期間は、親の存在はとても大きなものです。そういう私も中学時代は校内暴力がひどく、思春期には荒れていた時期がありました。その時に父親から思い切り殴られ唇が腫れ上がった事があり、その時に「犯罪はおかしてはいけません。」「誰でも分け隔てなく接するように。それ以外は自分で考えて行動しろ。」「ときつく言われました。殴られた私もかなり痛かったです。それ以上に父もつらかったと思います。この時の言葉は強く心に残っており、今でも肝に命じています。

親子関係は一生続いていきます。今の子どもたちもいつかは親になります。だから、今、親としてできる事は自分の時間を割いてでもしなければいけない責務であると思えます。色々な壁に子どもたちが直面した時にどう論じていくかは日々の積み重ねが大事で、ひとつずつ乗り越えていくことで、親も子ども成長していくのだと思います。原点にかえり、産まれてきてくれたから親になれた喜びを忘れる事なく、親子で切磋琢磨していくことが大切だと思っています。